

## 成人式につなげる絆計画 中学校合同文化祭

～旭の絆 永遠に続け 道を彩る 5色の輝き～

市内中学校の3年生が東総文化会館大ホールに集い、毎年11月に中学校合同文化祭が開催されます。生徒から募集されたスローガンの下で各校、特長を生かした発表が披露されています。

第1部では各校の代表クラスの合唱発表が行われ、心をつなげた素晴らしい歌声が響きます。第2部は団結と伝統を生かしたオリジナルの発表です。

今年度は海上中が箏の演奏、飯岡中・二中が全員合唱、一中がスーパーダンス、干潟中は演舞ソーラン節をそれぞれ披露し、会場は大きな拍手に包まれました。幕あいでは地域自慢の紹介コーナーが設けられ、ふるさと旭を実感する機会になりました。

この行事は新旭市の誕生に伴い、平成18年に中学生による「新しいまちづくりの提案」が募集され、生徒の発案で始まったものです。各校の代表生徒により実行委員会を組織して、夏休みから準備を進め、当日の運営まで生徒が主体となって行われています。



実行委員による司会(左)と  
代表クラスの合唱発表(右)



干潟中伝統のソーラン節の演舞

市内の中学校3年生全員が同じ空間で、同じ目的を持って集うこの貴重な体験を、将来の成人式につなげ、成人した喜びを同じ仲間で分かち合うための「絆計画」も併せて進められています。合同文化祭では成人式を見据え、夢の発表や成人式準備委員の紹介が行われます。

平成最後となった今年の成人式でも実行委員の手により、中学生時代の思い出や感動の日々をたどる企画が催されました。これからの成人式でも、合同文化祭を経験した子どもたちが成長した姿で再会します。

## あさひ輝いた人々

第5回

### 幽学の活動を支えた 門人

はやし いへえ  
林 伊兵衛 (1794～1870年)

伊兵衛の書

林伊兵衛は農村指導者として活躍した大原幽学の高弟で、幽学とともに先祖株組合を立ち上げるなど、地域のために尽くした人物です。

寛政6(1794)年に海上郡十日市場村に生まれました。数十か村の取りまとめを行う村役人の一つ、割元名主を務めた力のある地主で、農業のほかに醸造、漁業、呉服商、雑貨商、質屋を営み、イワシの豊漁にも恵まれ一代で財を成しました。娘婿に幽学門人の諸徳持村の菅谷幸左衛門を迎えたことから、自らも幽学の下で学ぶようになり、やがて幽学の活動を支える中心的な門人となりました。

伊兵衛の入門は天保10(1839)年、45歳の時です。学

びの道においては貧富の区別なく扱われることに感激し、それまでの実業一筋の暮らしから離れ、華美で広大な家屋も取りやめ、家業の農業に専念し、質素儉約に努めるようになりました。幽学による先祖株組合の結成に当たっては、土地を失った農民の再起のために無利子で資金を貸し出し、十日市場村の組合設立に当たっても中心となって力を尽くしました。組合の結成のほかにも、私財を惜しむことなく親類や貧しい人々の面倒も見ようになり、この熱意は周囲の村にも影響を与え、悪い行いをする者が改まったほどと伝えられています。伊兵衛は明治3(1870)年に亡くなりました。

大原幽学遺跡史跡公園には、幽学の指導を受けて建てられた母屋が移築、復元されています。



県指定有形文化財の旧林家住宅